

取扱説明書


DAYTONA corp.

S70999①/⑤

*取り付けする前に必ずお読み頂き、内容をよく理解して正しくお使いください。

*この取扱説明書は、いつでも取り出して読めるよう大切に保管してください。

*この商品もしくはこの商品を取り付けた車両を第三者に譲渡する場合は、必ずこの取扱説明書も併せてお渡しください。

| | | |
|---|------|-------|
|  | 適応車種 | 商品NO. |
| | 汎用 | 70999 |

■ご使用前に必ずご確認ください■

※ 取扱説明書内の注意事項を守らずに使用した事による事故や損害について、当社では一切の責任は負いません。

※ 商品の保証については保証書裏面の保証規定に沿って行ってまいります。保証内容をご理解のうえ、この取扱説明書と一緒に保管してください。

本書では正しい取り付け、取扱方法および点検整備に関する重要な事項を、次のシンボルマークで示しています。

警告 要件を満たさずに使用しますと、死亡または重傷に至る可能性が想定される場合を示してあります。

注意 要件を満たさずに使用しますと、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。

| | | | |
|---|--------------------------|--|---------------------|
|  実施 | 行為を強制したり指示する内容を告げるものです。 |  禁止 | 禁止の行為であることを告げるものです。 |
|  法令違反 | 条件次第では法令違反となることを告げるものです。 |  その他 | その他の警告及び注意を告げるものです。 |
|  分解禁止 | 表記の禁止行為を告げるものです。 |  水ぬれ禁止 | 表記の禁止行為を告げるものです。 |

警告



禁止

- ・ 航空機内、空港敷地内、中継局周辺、病院内では絶対に使用しないでください。(電源も入れないでください。)運行の安全、無線局の運用や放送受信に支障をきたしたり、医療機器が故障、誤動作する原因となります。
- ・ 病院等の医療機関では電源を切ってください。医療向け計測器、心臓ペースメーカー等の近くでは使用しないでください。医療機器へ悪影響を及ぼす恐れがあります。
- ・ 大音量で使用しないでください。周囲の交通の音が聞こえる音量でご使用ください。事故の原因になる恐れがあります。
- ・ 雷鳴が聞こえた場合、ただちに使用を中止し、安全な場所へ避難してください。落雷や感電に見舞われることがあります。



分解禁止

- ・ 分解、改造、修理をしないでください。火災、怪我、感電、故障の原因となります。修理の場合は、弊社またはお買い求めの販売店にご相談ください。

注意

- ・ 使用中、保管時に異臭、発熱、変色、変形などが発生した場合は、ただちに使用を中止し、弊社またはお買い求めの販売店にご連絡ください。



実施

- ・高温多湿になる場所、熱器具等の近くでの使用放置は避けてください。本体の変形、発熱、発火、破裂、感電、故障の原因となります。
- ・ボリュームの設定に気を付けてください。突然の大音量、継続的な大音量は鼓膜の損傷や難聴の原因となります。
- ・気温の低い場所から、室内等へ移動した場合、本体内部に結露が発生する場合があります。そのまま使用すると発熱、発火、破裂、感電、故障の原因となります。
- ・自動ドアや火災報知機の近くでは使用しないでください。自動ドアや火災報知機が誤作動する場合があります。
- ・本商品の電波が他の通信機器等に影響を与えている場合、ただちに電源を切り、影響を与えない場所をご利用ください。
- ・本体は走行中にヘルメットから落下しないように確実に取り付けをしてください。
- ・本体に強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- ・油類を付着させないでください。ガソリンやオイル等が付着すると、表面の劣化や故障の原因となります。
- ・本体、マイクフレキシブル部分には無理な力をかけないでください。可動範囲には限度があり、無理に力をかけると破損や故障の原因となります。
- ・本体に手を掛けてヘルメットを持ち運ばないでください。本体が破損するばかりでなく、本体が外れてヘルメットを落下させる恐れがあります。
- ・接続コネクタは、コネクタを持って確実に抜き差ししてください。ケーブルを引っ張ると破損や故障の原因となります。
- ・本製品を取り付けた状態でヘルメットを置く際は、本体に衝撃を与えないように注意してください。



法令違反

- ・本製品は電波法に基づく技術基準適合証明を受けています。日本国内以外で使用する場合、使用する国の電波法に従い利用してください。
- ・運転中の使用に関しましては、事前に使用地域の法律条例等をよくご確認ください。



水ぬれ禁止

- ・水がかかる場所への放置や水没はさせないでください。本製品は防滴仕様となっておりますが、長時間にわたり水がかかる場所での使用はお控えください。特にマイク、スピーカーは水に濡らさないようご注意ください。また、濡れた手で接続端子等の脱着は行わないでください。本体の発熱、発火、破裂、感電、故障の原因となります。



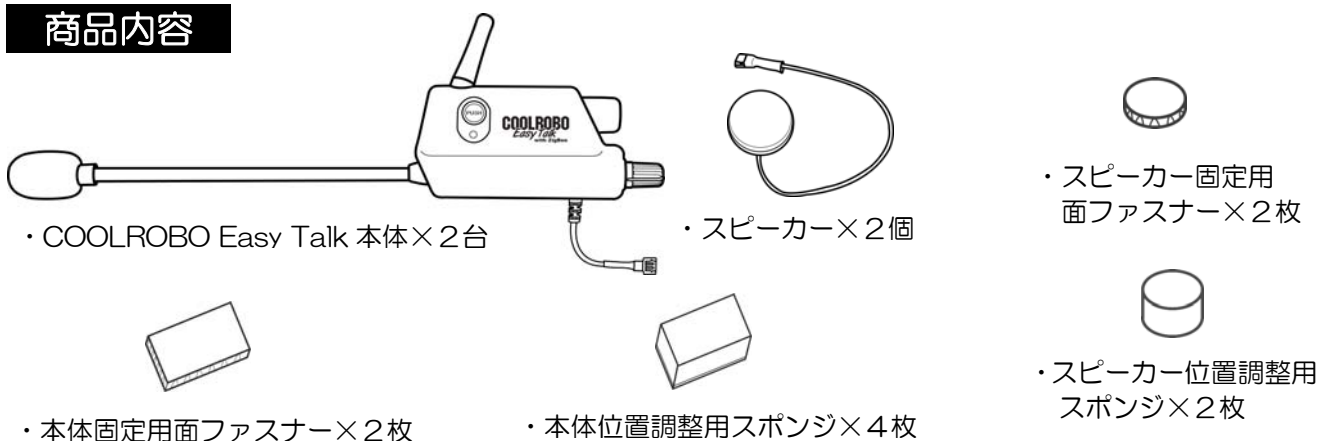
その他

- ・乳幼児の手の届かない場所に保管してください。付属品を誤って飲み込んだり、怪我の原因となります。

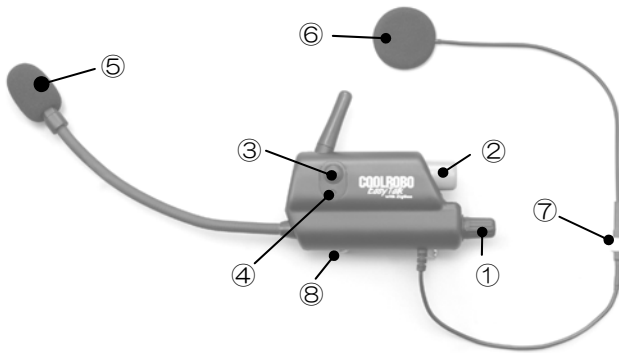
本商品の特徴

- ・通信方式は ZigBee (2.4GHz 帯) 基本ソフトをベースとした独自のプロトコルを使用。
- ・バッテリーは、単4乾電池 1 本使用。エネループ等の充電式乾電池も使用可能。
- ・工場出荷時にペアリング済で、単4乾電池を本体に入れて電源を ON するだけで即通話可能。
- ・通信距離は、お互いが見える範囲で約 70~100m 程度。※使用する環境や走行条件によって変化します。
- ・通話時間は、連続通話最大で約 10 時間可能。※使用する環境や走行条件によって変化します。
- ・チャンネルは 1Ch でタンデム、ペアツーリング、サイドカー等で 1 対 1 の通話。
- ・他のセットとの会話も、再ペアリングすることで会話が可能。1 度ペアリングをすれば再ペアリングの必要はありません。

商品内容



各部の名称と機能

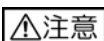


- ①電源スイッチおよびスピーカーボリューム調整ダイヤル
電源 ON/OFF および音量を調整するダイヤルです。
- ②乾電池キャップ
乾電池の交換用キャップです。
- ③PUSH ボタン
セット以外の COOLROBO Easy Talk とのペアリング時に使用します。
- ④LED
COOLROBO Easy Talk の作動状態を光で表示します。
- ⑤マイク
通話時に自分の音声を相手に伝えます。
- ⑥スピーカー
ヘルメットに取り付けて音声を出力します。
- ⑦スピーカー接続コネクタ
本体とスピーカーを接続します。
- ⑧ヘルメット取り付けフック
本体をヘルメットへ取り付ける時に使用します。

使用方法

1. 乾電池の取り付け

1. 本体のオレンジ色の乾電池キャップを左側（反時計回り）に回し、乾電池キャップを取り外します。（図1参照）

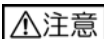


※キャップが、固くて回すことができない場合、コイン等を使用してキャップの溝部分を回すと容易にキャップが取り外せます。



キャップを左へ回すとキャップが外れます。

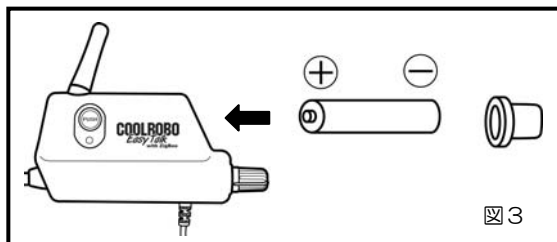
2. 乾電池(単4)の⊕側が本体側になるように本体へ挿入し乾電池キャップを取り付けます。（図2参照）



※ 図3を参照し、乾電池の向きを間違えないようにしてください。
※ 充電式乾電池も使用可能ですが、LOW バッテリーの警告音が通常のアルカリ乾電池等に比べ早まる場合があります。

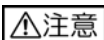


キャップを右へ回すとキャップがロックします。



3. スピーカーの取り付け

1. ヘルメット左側の保護パッドを取り外し、スピーカーをヘルメットを被った時に耳の位置にくるようにスピーカー固定用面ファスナーで固定します。（図4参照）



※スピーカーが耳から離れると音声の聞こえが悪くなりますので、使用するヘルメットに合わせてスピーカー位置調整用スポンジを使用してスピーカーの位置を調整してください。

※ 内部に耳当てがあるタイプのヘルメットでは、スピーカーを内装に組み込むことでより違和感がなくなる場合があります。（図5参照）

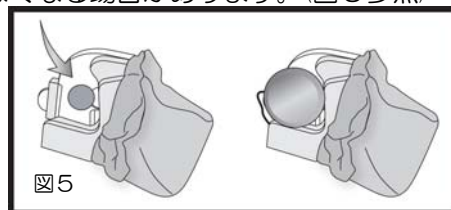


図5

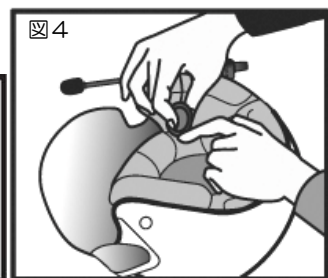
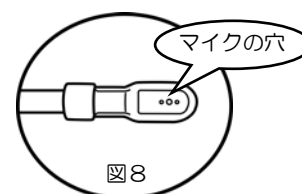
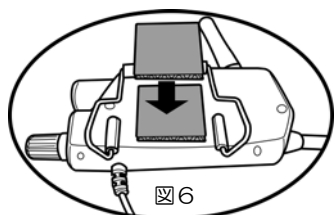
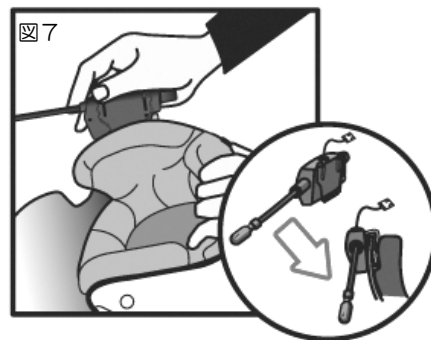


図4

4. 本体の取り付け

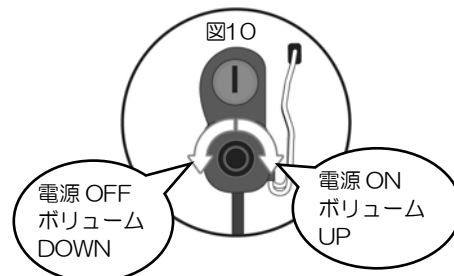
1. 本体の裏面に本体固定用面ファスナーを貼り付けます。(図6参照)
2. マイクの穴の部分が口元に来るように、本体をヘルメット取り付けフックと面ファスナーでヘルメットへ固定します。(図7、8参照)
3. 本体とスピーカーのコネクターを接続し、ヘルメットの保護パッドを取り付けます。

- △注意** ※本体のアンテナがヘルメットに当たる場合やアンテナの向きが垂直にならない場合は、本体位置調整用スポンジを使用して本体の位置を調整してください。(図9参照)
 ※マイクの穴を確認する際は、一度マイクスポンジを取り外して確認をしてください。



5. 電源のON/OFFとボリュームの調整

1. 本体のボリュームを右側に回すと(時計回り)“カチッ”音がして電源がONになります。
2. 電源ONからさらにボリュームを右側に廻すと(時計回り)スピーカーの音量が大きくなり、左側に回すと(反時計回り)スピーカーの音量が小さくなります。
3. ボリュームを左側に回して(反時計回り)“カチッ”音がしたら電源がOFFになります。(図10参照)



6. 通話

1. ペアリングができていない COOLROBO Easy Talk 2台の内の1台の電源をそれぞれ ON にします。(※工場出荷時にペアリング済です。)

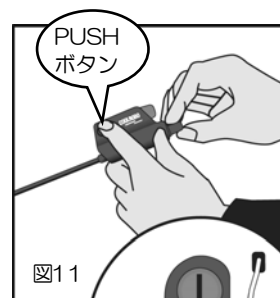
2. 2~3秒以内に LED が点灯し、消灯したらもう1台の電源を ON すると自動的に通話状態になります。

- △注意** ※上記操作をしても通話状態にならない場合は、どちらか一方の電源を一度 OFF にしてから再び ON にすると通話状態になります。
 ※電源を OFF から ON にしても通話状態にならない場合は、『7. ペアリング操作』を参照し、ペアリング操作を行ってください。
 ※通話中の LED は、消灯した状態となります。

7. ペアリング操作 (※セット以外の COOLROBO Easy Talk と使用する場合等)

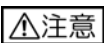
1. ペアリングをしたい両方の COOLROBO Easy Talk 本体の電源を ON にします。
2. 電源が ON の状態から COOLROBO Easy Talk 本体の PUSH ボタンを押しながら電源を OFF にします。(※ペアリングオールリセット状態)
3. それぞれの COOLROBO Easy Talk 本体の PUSH ボタンを押しながら電源を ON にします。LED が点滅しますので、PUSH ボタンを離してください。(図11参照)
4. 2台共に LED が点滅していることを確認し、どちらか片方の COOLROBO Easy Talk 本体の PUSH ボタンを押し続けます。
5. 『ピー』(PUSH ボタンを押している方は LED が点灯します。)という音とともにペアリングが完了しますので、手を離すと2台とも LED が消灯して自動的に通話が開始されます。

- △注意** ※3. 4. の操作は、それぞれ片側ずつ操作を行ってください。



8. 乾電池残量の警報

1. 乾電池の残量が少なくなった場合、スピーカーからの警告音とLEDの点滅でお知らせします。



※警告音は、『ブーブー』と約2秒間隔で鳴り、LEDも警告音に連動して約2秒間隔で点滅します。

LED表示の見かた

| 表示パターン | 状況 |
|-----------|--------------------------|
| ——— | 点灯 |
| ——— | 消灯 |
| | 点滅(早い) |
| — — — — — | 点滅(2秒間隔) |
| | 接続相手を検索中。通常、電源ON時に約2～3秒。 |
| | 通話中(電源ON時) |
| | ペアリングモード |
| | バッテリー電圧低下。乾電池の交換が必要。 |

トラブルシューティング

| Q(質問) | A(回答) | 解決方法 |
|--------------------|--|---|
| 1 電源が入らない。 | 乾電池の極性は正しくセットされていますか？ | 乾電池(単4)の極性を確認してください。 |
| | 乾電池は消耗していませんか？ | 新しい乾電池(単4)に交換してください。 |
| | 電源スイッチはONになっていますか？ | 電源スイッチをONにします。 |
| 2 音声が聞こえない・音量が小さい。 | スピーカーの位置は、耳の位置に合っていますか？ | スピーカーの位置はできるだけ耳の中心にくるように調整してください。また、ヘルメットの種類によりスピーカーが耳から離れてしまう場合は、スピーカー調整スポンジを使用してスピーカーが耳に可能な限り近づくように位置を調整してください。 |
| | ボリュームが最小になっていませんか？ | ボリュームを調整します。 |
| | マイクが口元から離れていませんか？ | マイクが口元から約1cmの位置に調整します。 |
| | マイクの穴の位置が口と反対側になっていませんか？ | 一度マイクよりマイクスポンジを取り外し、マイクの穴位置が口側になるようにします。 |
| | 本体とスピーカーのコネクターは接続されていますか？ | 本体とスピーカーの接続コネクターの接続を確認します。 |
| 3 通信(会話)ができない。 | それぞれ使用する本体の電源はONになっていますか？ | 電源をONにします。 |
| | 本体がお互いに認識できていない場合があります。 | 本体のどちらか片方の電源を一度OFFにして再度電源をONにします。 |
| | ペアリングが外れている可能性があります。 | ペアリング操作手順に従って再ペアリングをしてください。 |
| 4 風切り音が入る。 | ヘルメットのシールドが開いていませんか？ | 80km/h以上で走行する場合は、ヘルメットのシールドを閉めて走行してください。(風の音は多少入りますが音声は明瞭になります) |
| | マイクにスポンジが付いていますか？ | マイクスポンジには風切り音を緩和する働きがあります。必ず取り付けて走行してください。 |
| | マイクが口元から離れていませんか？ | マイクと口元の推奨距離は1cm以内です。マイクを口元から離れ過ぎると、不要な風が巻き込み、相手側スピーカーの風切り音が増大します。 |
| 5 雑音ができる。 | 静かな場所でボリュームを上げていませんか？(シー…音=ホワイトノイズ) | 故障ではありません。走行中には聞き取れない程度のホワイトノイズは常に発生します。 |
| | 本体のアンテナに物が接触したり、何かで隠れたりしていませんか？(ブツ、ブツ。パチ、パチ) | 本体のアンテナに物が触れたり、使用環境等により通信電波状況が悪くなるとブツ、ブツ。パチ、パチ音が発生する場合がありますが故障ではありません。 |
| | お互いの距離が離れ過ぎていませんか？ | 通信可能距離まで近づいて使用してください。お互いの距離が近くても相手が見えないと通信状態が悪くなります。 |

製品の保証について

- ・本商品の保証期間は購入日から1年間です。保証書の内容を良くお読みになり理解した上で商品をご利用ください。
- ・本商品は厳重に管理された工場にて生産・管理しておりますが、万が一不良が発生した場合は、本商品のみの保証対象といたします。本商品以外の部品代金、修理工賃、整備等で発生した費用は保証対象外とさせていただきます。
- ・外観上本体に大きな外傷、割れ等がある場合は、保証対象外とさせていただきます。予めご了承ください。
- ・保証修理を依頼される場合は、購入日が書かれ販売店の押印がされた保証書または、購入が証明できるお買い上げレシート等を用意し、お買い求めの販売店または、当社お客様相談窓口までご連絡ください。ご連絡無く商品をお送りいただいても受付できない場合がありますのでご注意ください。
- ・保証期間内であっても有償となる場合があります。予めご了承ください。

※ZigBeeはKoninklijke Philips Electronics N.V.の登録商標です。
※ZigBeeはZigBee Alliance, Inc.の登録商標です。

株式会社 **デイトナ**

〒437-0226 静岡県周智郡森町一宮 4805

URL: <http://www.daytona-mc.jp>

E-mail: info@daytona.co.jp

©デイトナ商品についてのご質問、ご意見は「フリーダイヤルお客様相談窓口」0120-60-4955まで